

〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)〕 1

坪内逍遙 つぼうちしょうよう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者	
時代	1859 (安政5) ~ 1935 (昭和10) 年 [35歳]
出身	岐阜県
評論	「①」 文学の価値を説いた、日本で初の文学理論書。
小説	<small>とうせいしよせいかたぎ</small> 「当世書生氣質」 東京の学生たちの風俗を、恋愛を中心に描いた小説。
翻訳	<small>さおうぜんしゅう</small> 『沙翁全集』 英国の作家シェイクスピアの脚本を、翻訳した全集。

ジュリエットが恋人ロミオへの気持ち話を場面です。現代の言葉との違いを味わいましょう。

おお、ロミオ、ロミオ！何故(なぜ)卿(おまえ)はロミオぢや！父御(てとご)をも、自身(みづかみ)の名をも棄(す)ててしまや。それが否(いや)ならば、せめても予(わし)の恋人(こいびと)ぢやと誓言(ちかひごころ)して下(くだ)され。予(わし)では、予(わし)や最早(もう)カピュレットではない。

「ロミオとヂジュリエット」より

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 2

泉鏡花 いずみきょうか

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1873 (明治6) ~ 1939 (昭和14) 年 [65歳]	
出身	石川県	
小説	しゅんちゆうごこく 「春昼後刻」	春の波間に消えてしまう、夢のような恋の話。
	こうやひじり 「高野聖」	山奥に棲む美女と動物達に、惑わされる僧の話。
戯曲	「①」	姫路城の天守閣に住む、恐ろしくも美しい化物の話。

さらば、と行って、土手の下で、分れ際へわかれぎ
 わに、やや遠ざかって、見返った時—その紫の
 深張(ふかばり)を帯のあたりで横にして、少し打
 傾(うちかたむ)いて、黒髪の頭おもげに見送って
 いた姿を忘れぬ。どんなに潮に乱れたろう。渚
 の砂は、崩(くず)しても、積もる、くぼめば、
 たまる、音もせぬ。ただ美しい骨が出る。貝の
 色は、日の紅、渚の雪、浪の緑。

「春昼後刻」より



春の昼下がりに、女性が海の中に身を投じる場面です。最後の体言止めが、印象的です。

〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)〕 3

樋口一葉 ひぐちいちよう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1872 (明治5) ~ 1896 (明治29) [24歳]	
出身	東京都	
小説	「①」	住む世界が違う少年少女の、淡い初恋の話。
	じゅうさんや 「十三夜」	離婚を考えている女性が、幼馴染と再会する話。
	「にごりえ」	幸薄い女性の、悲しい最期の話。

水仙の作り花を格子（こうし）門の外よりさし入
れ置きし者の有りけり、誰の仕業（しわざ）と知る
よし無けれど、美登利（みどり）は何ゆえとなく懐
（なつ）かしき思ひにて違い棚（たな）の一輪（いちりん）ざしに
入れて淋（さび）しく清き姿をめでけるが、聞く
ともなしに伝え聞くその明けの日は信如（しんじょ）
（よ）が何がしの学林（がくりん）に袖（そで）の色か
えぬべき当日なりしとぞ。

「たけくらべ」より



主人公美登利の初恋の相手は、信如という名の少年です。信如は僧侶になる修行をするために町を出て行きます。その際、水仙の造花を遺して去るのです。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 4

森鷗外 もりおうがい

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1862 (文久2) ~1922 (大正11) 年 [60歳]	
出身	島根県	
小説	さんしょうだゆう 「山椒太夫」	人買いにさらわれた、平安時代の幼い姉弟の話。
	まいひめ 「舞姫」	ドイツ人の舞姫と恋に落ちた、明治時代の青年の話。
	「①」	病気の弟を安楽死させた、江戸時代の兄の話。

声を呑(の)みつ、へっつ泣くひとりの少女(おとめ)あるを見たり。年は十六七なるべし。被(か)むりし巾(きん)を洩(も)れたる髪の色は、薄きこがね色にて、着たる衣は垢(あか)つき汚れたりとも見えず。我(わが)足音に驚かされてかへへえりみたる面(おもて)、余(よ)に詩人の筆なればこれを写すべくもあらず。

「舞姫」より



秀才の太田豊太郎は、ドイツに留学し、そこで貧しい踊り子の少女エリスと出会います。洋の東西や身分の違いを超えた、恋が始まる

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 5

夏目漱石 なつめそうせき

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者	
時代	1867 (慶応3) ~1916 (大正5) 年 [49歳]
出身	東京都
小説	「①」 中学教師に拾われた猫が、人間を観察していく話。
	「②」 青年教師が、田舎の中学校で起こす騒動の話。
	「 ^{こころ} こころ」 青年が、尊敬する先生の秘密を知る話。



「吾輩は猫である」より

どこで生れたかといふ所は、まだ無い。泣
いでも暗いじめと見当(けんとう)がつかぬ。
何で薄暗いじめと見当(けんとう)がつかぬ。
始めて人間といふものを見た。しかもあ
くそれは書生(しょせい)の見た。人間中で一
種族(しゅぞく)であつた。人間中で一番

猫が拾われる冒頭部分です。擬音語・擬態語が多く、ユーモラスで、軽快な雰囲気です。

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 6
感想文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた感想文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【感想文例】

タイトル 「春昼後刻」を読んで

- ①【選択】自分が選んだシートの明記。
[泉鏡花]という作家の「春昼後刻」という作品の感想を書きます。
- ②【理由】シートを選んだ理由。
選んだ理由は[1～5のシートの中で、一番きれいな文章だと思ったからです。]
- ④【音読】声に出して読んでみて、ことばの調子やリズムから気づいたこと。
声に出して読んでみて、[読点が短い間隔で打たれていて、歯切れよく読めることに気づきました。]
- ⑤【視写】書き写してみて、文章の雰囲気文体から感じたこと。
また、書き写してみて、[色のイメージが広がる言葉がたくさんあるんだなあと、感心しました。]
- ⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。
この文章を読み、[この小説を図書館で借りて、全部読みたいと思いました。]

学習するみなさんへ：

感想文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

○読んだ内容を、いろんな観点から分析する。

○自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 7

島崎藤村 しまざきとうそん

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1872 (明治5) ~ 1943 (昭和18) 年 [71歳]	
出身	長野県	
小説	「①」	出生の秘密を打ち明けようかと苦悩する、青年の話。
	「夜明け前」	時代の変化についていけず、苦悩する男性の話。
詩集	<small>わかなしゅう</small> 『若菜集』	恋愛、旅情等を美しく歌い上げた詩集。

『隠せ』—其を守る為には今日迄(まで)何程(ほど)其(それ)の苦心を重ねたらへらう。『忘れるな』—疑(うたがひ)と恐怖(おそれ)を抱いたらう。もし父(ちち)が斯(こ)の世(よ)に生きながらへへて居(ゐ)たら、まあ気(き)でも狂(くる)つたかのやうに自分の思想(しゆ)の変(へ)つたことを憤(い)り悲(かな)しむであらへらうかと、今はその戒(いま)を破(やぶ)り棄(す)てる気で居(ゐ)る。

「破戒」より



父親は息子に、出自を秘密にするようにさとしました。しかし、息子は父の言いつけを破ることを決めます…主人公が生き方を決め

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 8

芥川龍之介 あくたがわりゆうのすけ

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1892 (明治25) ~ 1927 (昭和2) 年 [35歳]	
出身	東京都	
小説	くものいと 「蜘蛛の糸」	地獄の底からはい上がろうとする、罪人の話。
	「①」	鼻が大きいことを、悩みに悩む、お坊さんの話。
	「②」	トロッコに乗って冒険する、少年の話。



「羅生門」より

ある日の暮方くればがたの事である。一人の下人げにんが、羅生門らしょうもんの下で雨やみを待っていた。広い門の下には、この男のほかには誰もいない。ただ、所々丹塗にぬりの剥はげた、大きな円柱まるばしらに、蟋蟀きりぎりすが一匹とまっている。

仕事を失った、貧しい若い男が、これからの生活について途方に暮れながら、大きな門の下で雨宿りをしている場面です。これからどうなるのでしょうか。

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 9

菊池寛 きくちかん

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1888 (明治21) ~1948 (昭和23) 年 [59歳]	
出身	香川県	
戯曲	「①」	長く不在だった父が、家族の許へと帰ってくる話。
小説	おんしゅうのかなたに 「恩讐の彼方に」	青年が、父の敵討ちをしようとする話。
	「形」	自分の力を過信した武者が、失敗する話。



「恩讐の彼方に」より

敵を討つなどという心よりも、このかよ
わい人間の双腕(かいな)によって成し遂
げられた偉業(いぎょう)に対する驚異(ききょう)
と感激(きんげき)の心(こころ)で、胸(むね)がいっぱいであつた。彼
はいざり寄りながら、再び老僧(らうそう)の手をとつた。彼
人はそこにすべてを忘れて、感激(きんげき)の涙(なみだ)におせ
び合(あ)うたのであつた。

親の敵《かたき》を討とうと思っていた主人公ですが、敵と共に、岸壁を掘り進める作業をするようになります。恨みを超えて、心と心が結ばれる

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 10

有島武郎 ありしまたけお

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1878 (明治11) ~1923 (大正12) 年 [45歳]	
出身	東京都	
評論	「惜しみなく愛は奪う」	神や愛、人間の本质について考えを述べた評論。
小説	「①」	罪を犯した少年と、心優しい先生の話。
	「生まれ出づる悩み」	画家志望の青年が、自分の夢について考え直す話。

しけ^どら^なこ^し
 いれ^いないにそは僕
 手どのあと行れにかそ
 はも房と知かにかその
 ど、は思りれたしみの時
 こそ紫いなたて屋でか
 にれ色まがでもなから
 もをにす。よのく前
 見受色。僕う。大なり
 つけづ秋。僕う。好
 かりたいには。もきた少
 り大てなるでもうなよし
 ま理美るとも二あうい
 せん石しくいあ度のい
 の粉つのはい子
 うをでも先生遇先生は
 なふも葡萄が^あは
 白き葡萄いた^えど
 美す^ぶ

「一房の葡萄」より

少年の心を素直に書いた、読点の少ない文章です。主人公の心情を思いながら、ゆったり、読みましょう。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 11

梶井基次郎 かじいもとじろう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1901 (明治34) ~1932 (昭和7) 年 [31歳]	
出身	大阪府	
小説	「①」	京都に住む学生が、レモンに幸福を感じる話。
	「城のある町にて」	三重県松阪の、自然や日々の出来事を描いた話。
	「桜の樹の下には」	桜を前にした時に感じる、不安と幻を描いた話。

のらて街の私たの絵私
 上いくた歩を私は紡単具は
 でくた歩はそは鍾純をあの
 非ら不吉な塊(かたまり)がそれ握った瞬間か
 常か弛(ゆる)んで来たとき、私は街
 に幸福であった。

「檸檬」より

不安の中で、一個のレモンのみずみずしさに、心うたれる場面です。幸福を感じるのも、ある種の才能なのかもしれません。

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 12
感想文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた感想文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【感想文例】

タイトル 「一房の葡萄」を読んで

- ①【選択】自分が選んだシートの明記。
[有島武郎]という作家の「一房の葡萄」という作品の感想を書きます。
- ②【理由】シートを選んだ理由。
選んだ理由は[葡萄を食べた時のように甘酸っぱい気持ちになったからです。]
- ④【音読】声に出して読んでみて、ことばの調子やリズムから気づいたこと。
声に出して読んでみて、[語りかけるような調子で、まるやかな雰囲気を感じました。]
- ⑤【視写】書き写してみて、文章の雰囲気文体から感じたこと。
また、書き写してみて、[ひらがなが多く、小さい子どもが書いている文章のようにも思いました。]
- ⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。
この文章を読み、[なぜか自分が小学校の頃教えてくれた優しい先生のことを思い出し、懐かしくなりました。]

学習するみなさんへ：

感想文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

- 読んだ内容を、いろんな観点から分析する。
- 自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 13

宮沢賢治 みやざわけんじ

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1896 (明治29) ~1933 (昭和8) 年 [37歳]	
出身	岩手県	
小説	「注文の多い料理店」	料理を食べようと店に入った、紳士達の話。
	「①」	宇宙を走る「銀河鉄道」に乗った、少年達の話。
	「よだかの星」	仲間外れにされてしまう、みにくい鳥の話。



「銀河鉄道の夜」より

い「ペ幸はね「
まカうんへもえカム
しムン焼さもえカム
たムん。いてうさうあどヨ
。パ。僕てもののさあのこバ
ネだもかののさまどネ
ルだっかまのそそまでもラニ
ラのてまののりもも、は、
の眼そまののどまたあ
にはうわののようこあ、
はきれいな涙がうかんで僕
「僕
のからだなんか百
の僕

宇宙を走る「銀河鉄道」に乗った少年達が、さそり座の星を前に、友情を誓う場面です。しかしこの後、悲しい現実に向直面することになるのでした。この「きれいな涙」には、どんな思いが込められているので

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 14

堀辰雄 ほりたつお

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1904 (明治37) ~1953 (昭和28) 年 [48歳]	
出身	東京都	
小説	「 ^{せいかぞく} ① 聖家族」	死んだ作家をめぐる、遺された人々の話。
	「①」	婚約者の死を乗り越え、生のあり方を探す作品。
	「 ^{なほこ} 菜穂子」	対照的な生き方をする、幼なじみの男女の話。

でもどのに、と
 のの、又ひう詩句が、それきりずつと忘れていたの
 愉よりも云へじわば人生に先立った、人生そのま
 へたのししい日々であった。

「風立ちぬ」より

風立ちぬ、いざ生きめやも。

それは、私達が始めて出会ったもう二年前に
 た、その頃、不意に私の口を衝いて出
 口ずさむことを好んでいた、

「風立ちぬ、いざ生きめやも」は、詩人ヴァレリーの、Le vent se lève, il faut tenter de vivre という詩文の翻訳です。病気の婚約者を前に、主人公の口から出た言葉で



[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 15

倉田百三 くらたひやくぞう

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1891(明治24)～1943(昭和13)年 [53歳]	
出身	広島県	
戯曲	「①」	鎌倉時代の僧が、恋と修行に苦しむ物語。
	「大化の改新」	恋と政治に板ばさみになる、中大兄皇子の話。
評論	「愛と認識の出發」	評論集。当時の学生に絶大な影響を与えた。

はかなるかならすし造の皆福に気が
 さなるえいつからて作人をはを気が
 びいっつ時しそものお守が強
 しのて。あは、け。善義奪ちし弱く
 さね。(中略)他人に迷惑をかけるようとする
 堪えられ義理に優しい人は、後
 初めは義理に優しい人は、後
 堪えられ義理に優しい人は、後

「出家とその弟子」より

恋を反対されて悩んでいる後輩に対し、女性が励ます場面です。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 16

小林多喜二 こばやしきたきじ

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1903 (明治36) ~1933 (昭和8) 年 [29歳]	
出身	秋田県	
小説	「①」	過酷な労働環境の中で、労働者が怒り、団結する話。
	「不在地主」	プロレタリア文学の第一人者となった代表作。
	「党生活者」	追いつめられた生活を手記の形で書いた作品。

方言を使用し、緊迫した船での作業風景が描かれています。力強く読みましょう。

「おい地獄さ行へえ」ぐんだでー！
 二人はデッキの手すりに寄りかかって、蝸牛
 〔かたつおり〕が背のびをしたように延びて、海を
 抱〔かか〕え込んでいる函館〔はこだて〕の街を見て
 いた。―漁夫は指元まで吸いつくした煙草〔たば
 こ〕を唾〔つば〕と一緒に捨てた。巻煙草はおどけ
 たように、色々にひっくりかえって、高い船腹
 〔サイド〕をすれずれに落ちて行った。彼は身体
 〔からだ〕一杯酒臭かった。

「蟹工船」より



〔近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)〕 17

太宰治 だざいおさむ

年 組 氏名

〈課題〉


- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1902 (明治36) ~ 1948 (昭和23) 年 [39歳]	
出身	青森県	
小説	「①」	友のために命がけで走る、古代ギリシャの男の話。
	しゃよう 「斜陽」	生き方を模索する、終戦直後の没落貴族の話。
	「②」	愛を求めるが社会に溶け込めず、破滅する男の話。

るかの走「まえををもたま「
 の、だるそし、か、ををはや
 だ。もの。のれた。強らか平信ごめ
 だ。っ人だ。から」信っでて分下
 つと命間、から、念をも、しま命
 い恐も合、走る、持ちメ。た。事
 てろ問う、のだ。信じられ
 来し間、走、の。信は問
 いく題、の。に合わぬは問
 !大で間だ。に合わぬは問
 きいな間に信は問
 フイの。だ。私に問
 ロスの為は、私に問
 ストは、私に問
 ラに走、私に問
 トス。つなで
 」いだい

「走れメロス」より

主人公メロスが、友の命のために、最後の力をふりしぼって走る場面です。力強く読みましょう。



〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 18
感想文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた感想文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【感想文例】

タイトル 「走れメロス」を読んで

①【選択】自分が選んだシートの明記。

[太宰治]という作家の「走れメロス」という作品の感想を書きます。

②【理由】シートを選んだ理由。

選んだ理由は[13～17のシートの中唯一の外国の話で、新鮮に感じたからです。]

④【音読】声に出して読んでみて、ことばの調子やリズムから気づいたこと。

声に出して読んでみて、『～のだ』『！』が繰り返しによって、スピード感が出ることに気づきました。]

⑤【視写】書き写して見て、文章の雰囲気文体から感じたこと。

また、書き写して見て、[何度も出ている『信』という漢字は、この話のキーワードなのではないかという気がしました。]

⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。

この文章を読み、[人の命よりも恐ろしく大きいものは何なのか知りたいと思いました。]

学習するみなさんへ：

感想文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

○読んだ内容を、いろんな観点から分析する。

○自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 19
 中島敦 なかじまあつし

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1909 (明治42) 年～1942 (昭和17) 年 [33歳]	
出身	東京都	
小説	「①」	苦悩により、虎に変身した中国の男の話。
	りりょう 「李稜」	漢の時代の、三人の男達の数奇な運命の話。
	ごじょうたんに 「悟浄歎異」	「西遊記」をもとにした、河童の沙悟浄の話。

「だめだよ、俺は。まったくどうしてかな？」
 と八戒(はっかい)は面目(めんもく)なげに鼻を鳴ら
 した。だめだめ。お前は。もう一度凝(こ)らな
 いか。真(ま)剣(けん)にかけなさい。真(ま)剣(けん)に
 ない。真(ま)剣(けん)にかけなさい。真(ま)剣(けん)に
 い。真(ま)剣(けん)にかけなさい。真(ま)剣(けん)に
 消えてしまえばいい。お前(まへ)というものが
 度(たび)は前(まへ)と違(ちが)って、奇(き)怪(かい)なも
 物(もの)が現(あら)われた。今(いま)

「悟浄歎異」より

豚の八戒は、竜に変身しようとしても、蛇にしかありません。そんな八戒に、猿の悟空がアドバイスをしている場面です。八戒と悟空の違いを意識して読みましょう。



[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 20

新美南吉 にいみなんきち

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1913 (大正2) ~1943 (昭和18) 年 [29歳]	
出身	愛知県	
童話	「①」	若い頃、ランプ屋をしていたおじいさんの話。
	「手袋を買いに」	狐の母子が、人間の店に手袋を買いに行く話。
	「ごん狐」	いたずら好きの狐が罪滅ぼしをする話。

なりいし古ぱいいがし「
 い、つよいりした、よわ
 とそたうしそよいなうし
 いんりばよいうのかばの
 うな、いうつばはないや
 こ意世がばをいこかのり
 と気のはいすがうりや方
 だ地中やにておきつめは
 だのつかる役、ば方少
 「へいくじ」のすてじのに日だはし
 のんだつ。たがた自鹿
 のねえこと方いたりもきた、自分のす
 ことうよかつた、自分のす
 はうらかつた、自分のす
 決らかつた、自分のす
 してした、自分のす
 しと、自分のす

「おじいさんのランプ」

古い形の商売を
 きっぱりとあきら
 め、新しい時代
 を迎えようとした
 おじいさんの話
 です。現代にも
 通用する話です

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 21

坂口安吾 さかぐちあんご

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1906 (明治39) ~1955 (昭和30) 年 [48歳]	
出身	新潟県	
評論	だらくろん 「墮落論」	「墮落」したその先に、意味を見出そうとする評論。
小説	「①」	桜の森で知り合った男女の、幻想的な話。
	「風と光と二十の私と」	作者が小学校で教員をしていた頃の、自伝的小説。

もせ はつ桜が
知ん。桜もまの散た
れ。のうで森りだ
まあ森帰ものつひ
まのるそ満づっ
せん。満とこ開けそ
。は開こにのてり
。「のろ坐下いと、
孤独のなて坐ばそ
」秘密のいる(すわ)かりして
といはでことひそひ
う誰にすから。でいまそと、
ものも今も分りま
であつたか 彼い

「桜の森の満開の下」より



大切な人を失った男が、桜の森の満開のした、座り続けている場面です。夜の桜の森の情景をイメージしながら、ひそやかに、ゆっくりと、読みま

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 22

下村湖人 しもむらこじん

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1884 (明治36) ~1955 (昭和30) 年 [70歳]	
出身	佐賀県	
小説	「①」	「論語」を現代語で丁寧に描いた書。
	「次郎物語」	家の没落、母の死、父の再婚、受験の失敗などをこえて、力強く生きていく少年の話。
随筆	「青年の思索のために」	よりよく生きるための知恵を導き出した随筆。

「お前は、自分で自分の欠点を並べたてて、自分の気休めにするつもりなのか。そんなことをする隙(ひま)があったら、なぜもつと苦しんでみないのじゃ。お前は、本来自分にその力がないうのじゃ。お前は、力を解かまくらうに力をあるかないかは、努力してみたらどうか。努力してみたら、力がない者は中途で斃(たお)れる。斃れてはじめて力の足りなかつたことが証明されるのじゃ。斃れもしないうちは、自分が自分の力の足りないことを予定するのじゃ。天に對する冒瀆(ぼうとく)じゃない。なにが悪いのか。天に對する悪は、まだ試してもみない自分の力を否定するほどの悪はない。それは生命そのもの否定を意味するからじゃ。しかし…」

「論語物語」より

儒教の開祖「孔子」が弟子に語りかける場面です。自分で自分の限界を決めたり、逃げる口実にしたりしてはいけませんね。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 23

小泉八雲 こいずみやくも

年 組 氏名

〈課題〉

- 1 作者の名前を、漢字で正しく書こう。
- 2 空欄にあてはまる作品名を書こう。(わからないときは、解答シートで確かめよう)
- 3 下の文章を音読しよう。(すらすらと読めるようになることを目標に)

作者		
時代	1850 (嘉永3) ~ 1904 (明治37) 年 [54歳]	
出身	ギリシャ レフカダ島	
小説	「①」	人を化かす妖怪『おじな』の話。
	「雪女」	吹雪の日、雪女に出会った男の話。
	「かけひき」	処刑される罪人の怨念と、武士との知恵比べの話。

り「盗賊でなく盗賊か?」と蕎麦(そば)売
 は盗賊でなく盗賊か?とおじなを見た男
 のだ。濠(ほり)の縁(ふち)でその女が私に見せ
 たのだ。ああ! 何をみせたって、そりや云え
 ない。え! その見せたものはこんなものだった
 か? と蕎麦屋は自分の顔を撫(な)でながら
 云った。それと共に、蕎麦売りの顔は卵のよう
 になった。そして同時に灯火は消えてしまっ
 た。

「貉(おじな)」より



『むじな』に化かされた男が、必死の思いで、逃げた場面です。このように読者を二度脅かす話を「再度の怪」といいます。

[近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編) 24
感想文を書こう！

年 組 氏名

あなたが学習した内容を表現することはできましたか。
自分の書いた感想文が次の型に沿っているかを確認しましょう。

【感想文例】

タイトル 「おじいさんのランプ」を読んで

- ①【選択】自分が選んだシートの明記。
[新美南吉]という作家の「おじいさんのランプ」という作品の感想を書きます。
- ②【理由】シートを選んだ理由。
選んだ理由は[小学校のときに読んだ作品で、親しみやすかったからです。]
- ④【音読】声に出して読んでみて、ことばの調子やリズムから気づいたこと。
声に出して読んでみて、[題名や前後を読まなくてもお爺さんの語りだということに気づきました。]
- ⑤【視写】書き写してみて、文章の雰囲気文体から感じたこと。
また、書き写してみて、[ひらがなが多いことから、子供向けの文章だと感じました。]
- ⑥【全体的な感想】中身を味わって、自分が思ったこと。
この文章を読み、[今の社会や人間の生き方にも通用する話だと思いました。]

学習するみなさんへ：

感想文を書くときには、「型」を意識した書き方を経験しましょう。

また、次のポイントに気をつけましょう。

- 読んだ内容を、いろんな観点から分析する。
- 自分が書きたい内容が正確に表せるように付属語を選ぶ。

シートに下書きした後、原稿用紙に書くと原稿用紙の使い方の理解にもつながります。

[近現代文学に興味を持とうシリーズ(小説編)] 25
読書感想文を書こう！

年 組 氏名

1～20のシートでの学習を振り返り、読書感想文を書きましょう。

* 書くときのポイント *

①【選択】 紹介された作品の中からひとつ選び、本を探し、最後まで読む。
二度三度、繰り返し読むと、新しい発見があるでしょう。

②【内容】 本を読んで気づいた点を、箇条書きにして、整理していく。

(例)

- ・ 作品を選んだ理由。
- ・ 作品のあらすじ。
- ・ 音読してみて、ことばの調子やリズムから気づいたこと。
- ・ 書き写してみて、文章の雰囲気文体から感じたこと。
- ・ 作品を味わって、登場人物と自分の共通点、相違点など。
- ・ 作品を味わって、特に感動したこと・印象に残っていること。
- ・ この作品を読んだことで得た、自分の心境の変化。
- ・ この作品の内容の中で、自分の生活に活かしていける部分。

③【構成】 どの順番で書けば読む人に自分の思いが効果的に伝わるか考える。
②の内容をふせんに貼って、順番を入れ替えながら考えてもよいでしょう。

④【下書き】 実際に原稿用紙に書いてみる。

⑤【音読】 書いた下書きを声に出して読んで、見直す。

⑥【清書】 原稿用紙に読みやすい字で、正しく書く。

⑦【評価】 作品を身近な人(先生・家族・友人)などに読んで貰って、感想を聞く。

選んだ本の題・作者・出版社をメモしておこう。

〔近現代文学に興味を持つシリーズ(小説編)〕 25
読書感想文を書こう！

年 組 氏名

＊原稿用紙の書き方 最終確認＊

- ① 本文の最初の文字は、一マス下げて書く。
- ② 段落が変わりときも、一マス下げて書く。
- ③ 文字、句読点・符号（。、・「」）なども、一マス用いて書く。
 - ・句読点は、マスの右上すみに打つようにする。
- ④ 句読点は、行の最初には書かない。
 - ・句読点は、文や文節が行末で終わった場合にのみ、最後のマスに字と一緒に書く。
- ⑤ 文末は、常体（ダ・テアル）か、敬体（デス・マス）に統一する。

学習するみなさんへ：

近現代文学・小説シリーズはこれでおしまいです。楽しかったですか。

今回の学習のように、教科書で学習すること以外でも、楽しみながら言葉の力をつける方法はたくさんあります。これからもいろいろな小説に興味を持つようにしてください。